

起請文等神文・罰文集成ならびに索引(稿)

——貞永元年(一二三二)まで——

竹 居 明 男

凡 例

一、小稿は、貞永元年(一二三二)までの起請文等から、いわゆる神文・罰文の部分を可能な限り集成・抜粋して、編年順に掲げ、併せて神仏名等の索引を付したものである。ただし今回は、『雑筆要集』及び『儒林拾要』所収の「祭文」「天判祭文札」「起請文」は採録していない。

時期の下限は、貞永式目後付の起請文を一つの画期と判断したことによる。これに接続する年代については、後日を期したい。

一、神文・罰文は、まず文書一通ごとに通し番号を付し、次に文書の日付、文書名、典拠・底本(「内」を記した上で、二文字下げで掲げた。文書名は底本に従うのを原則としたが、句読点は読点に統一し、底本のそれを一部改めたところがある。また底本の割注はへ 〽内一行書きとした。

起請文等神文・罰文集成ならびに索引（稿）

なお底本のうち、古文書③は大日本古文書（編年文書）第三巻の略である。

一、索引は、神仏名ほか重要と思われる語句を抽出し（検索の便宜上、重複は厭わない）、左記の項目に一応分類した上で、それぞれの項目ごとに初見順に配列し、該当する語句が見える神文・罰文の通じ番号をもって示した。通じ番号の後の（ ）内には、必要に応じて前後の語句を掲げ（――は、索引項目の略）、また索引項目と異なる場合の表記を示した。

【仏教的世界観】

【諸仏・諸菩薩・諸天・護法神・諸経等】

【天神地祇・鎮守神等】

【星宿・道教神等】

【人物・怨霊神等】

【神仏ないしその他一切の総称】

【罰の内容・形態、神仏列挙の構造等】

本索引においては、文書本文の大小と太少とは大小に、また罰と罰とは罰に、それぞれ表記統一した。

なお語句の区切り方や、分類等には一部判断に迷うものがあり、その他不統一、誤解等の少なくないことを惧れる。

一、その他、適宜類推されたい。

一、今回の作業は、平安遺文・鎌倉遺文の通読はもとより、左記に掲げた諸先学のご業績によって、神文・罰文の網

羅的収集を期したつもりであるが、なお遺漏・誤解等が少なくないと思われる。この場を借りて、関係諸先学に厚く御礼申し上げるとともに、御示教を切にお願ひ申し上げる次第である。また、同志社大学大学院生の杉崎貴英君には、草稿段階で一見を乞い、種々の示教にあずかったこと、厚く御礼申し上げます。

『古事類苑』人部二、『国史大辞典』、『日本史大事典』、『平安時代史事典』

* * *

勝峯月溪『古文書学概論』

相田二郎『古文書学』上巻

佐藤進一『古文書学入門』

中村直勝『日本古文書学』中巻

日本歴史学協会編『概説古文書学』古代・中世編

* * *

中田 薫『法制史論集』第三巻

中村直勝『起請の心』

入間田宣夫『百姓申状と起請文の世界』

同右『武者の世に』（『日本の歴史』第七巻）

荻野三七彦『古文書研究』

* * *

起請文等神文・罰文集成ならびに索引（稿）

起請文等神文・罰文集成ならびに索引（稿）

黒川直則「起請の詞」（『日本史研究』第二一九号）

千々和到「中世民衆の意識と思想」（『講座一揆』第四卷）

早川庄八「起請管見」（関晃先生古稀記念『律令国家の構造』）

佐藤弘夫「怒る神と救う神」（日本仏教研究会編『日本の仏教』第三号）

一、今回掲げ得た文書は、都合一二七通（通し番号一一〇までで、途中九ノ一、九ノ二、一〇ノ一、一二ノ一、二〇ノ一、二二ノ一、三二ノ一、三一ノ二、三三ノ一、三三ノ二、三四ノ一、四七ノ一、六一ノ一、六八ノ一、六八ノ二、七五ノ一、八二ノ一あり）である。

神文・罰文

一

天平二十年（七四八）六月十七日付・弘福寺三綱牒〔東寺文書礼、古文書③四一〜四八頁〕

有破犯輩、墮大地獄（獄）滅子孫、

二

天平感宝元年（七四九）閏五月二十日付・聖武天皇勅施入願文〔平田寺文書、古文書③二四〇〜二四一頁〕

其後代有不道之主、邪賊之臣、若犯若破障而不行者、是人必得破辱十方三世諸仏菩薩・一切賢聖之罪、終当落大地獄、無數劫中、永無出離、復十方一切諸天、梵王帝釈、四大天王、天龍八部、金剛密跡、護法護塔善神王、及

三 普天率土有大威力天神地祇、七廟尊靈、并佐命立功大臣將軍之靈等、共起大禍、永滅子孫、

天平感宝元年（七四九）閏五月二十日付・聖武天皇施入願文〔中村文書、古文書③二四二～三頁〕

後有不道之主、邪賊之臣、若犯若破障而不行者、是人必得破辱十方三世諸仏菩薩・一切賢聖之罪、終当落大地獄、無數劫中、永無出離、復十方一切諸天、梵王帝尺、四大天王、天龍八部、金剛密跡、護法護塔大善神王、及普天率土有大威力天神地祇、七廟尊靈、并佐命立功大臣將軍之靈等、共起天禍、永滅子孫、

四

天平勝宝元年（七四九）閏五月二十日付・聖武天皇施入勅願文銅版礼〔正倉院御物、古文書③二四三～五頁〕

其後代有不道之主、邪賊之臣、若犯若破障而不行者、是人必得破辱十方三世諸仏菩薩・一切賢聖之罪、終当墮大地獄、無數劫中、永無出離、十方一切諸天、梵天、護塔大善神王、及普天率土有勢威力天神地祇、七廟尊靈、并佐命立功大臣將軍靈、共起太禍、永滅子孫、

五

天平勝宝二年（七五〇）二月二十二日付・聖武太上天皇施入御願文〔正倉院文書、古文書③三五七～九頁〕

若有不道之主、邪賊之臣、若犯若破障而不行者、諸仏菩薩、諸天、梵王、護法大善神王、普天率土天神地祇、七廟尊靈、并佐命立功大臣將軍靈、共起太禍、永滅子孫、

六

天喜四年（一〇五六）五月付・東大寺起請案〔百卷本東大寺文書、平安遺文八〇一號〕

現在必招災難、未來必墮在阿鼻地獄、雖經無央數劫、不可聞三宝名字、永可斷仏種処也、

（中略）

惣行事 八幡大菩薩

判 氣比氣多

判 五百余所

判 廿五所

判 □大明神

七

天喜四年（一〇五六）十二月五日付・讃岐国善通寺田畠地子支配状案〔東寺百合文書、平安遺文八二四号〕
若有留食司者、住持三宝大師聖靈護法天等、垂証明歟、

（中略）

証成大事

天麻大明神

雷氣明神

塔立明神

燕津明神

八

〔年欠〕二月二十八日付・東大寺上座慶寿起請案〔狩野亨吉氏蒐集文書、平安遺文八九七号〕

抑若子孫之中、 輩、慶寿身成惡魔、其子孫不可擬 天護法垂知見証明、

九

〔年欠〕二(三カ)月二日付・東大寺上座慶寿起請案〔狩野亨吉氏蒐集文書、平安遺文八九八号〕

若此饗致疎略者、慶寿身成 、起請注申之状如件、

九ノ一

永保元年(一〇八二)八月二十三日付・伊勢国大國莊司解〔東寺文書百合外、平安遺文四九四五号〕

就中、无道 障、可墮落无間獄起請、

九ノ三

應徳三年(一〇八六)十一月十三日付・尚侍藤原氏施入状〔紀伊統風土記付録十二尊勝院文書、平安遺文一二五〇号〕

若以食欲、横相妨輩出来者、不滿所願、權現王子眷属神等、必令見知給、加証判、

一〇

永久四年(一一一六)五月二十八日付・僧覺尊讓状裏書〔股野文書、平安遺文一六三三号〕

本師慶救起請遺言云、(中略)若背起請旨者、現世蒙七難九横、後世可随三途八難、

一〇ノ一

元永元年（一一一八）十月付・能登守藤原基頼寄進状案〔能登菅原天神社文書、平安遺文一七三五号〕

若世及澆季、倒入此保於国衙之輩、早被天満天神之冥罰、忽停止国務、長断二世之宿望、可亡子孫者、

一一

保安三年（一一二二）正月二十八日付・伊勢国大田堵等解〔東寺百合文書、平安遺文一九五〇号〕

件堰溝顛倒之条、田堵等若構申無実者、忝可被裁罰仏神也、

一二

大治年中（一一二六〜三二）・進納北野聖廟起請文〔吾妻鏡文治二年六月十五日条所引保延七年六月二十日付官宣旨、新訂増補国史大系〕

自今以後、有蔑爾氏人之許否、暗以豪貴之權威、不測涯分、若致濫望之輩者、高振靈威、立与冥罰、内則天神必加呵責之誠、外亦氏人永断親族之義、

一二ノ一

保延元年（一一三五）十二月二十七日付・八幡部重行請文〔東大寺文書、平安遺文二三三五号〕

仍於自今以後者、依冥願恐候、

一三

保延三年（一一三七）四月三日付・石清水檢校法印光清起請文案〔石清水田中文書、平安遺文二三六七号〕

仰願大菩薩、早知見斯鄭之誠信、

一四

保延四年（一一三八）十一月二十八日付・大和國小東莊下司僧教助陳狀〔堂本四郎氏所藏「櫓の朽葉」所収、平安遺文五〇〇五号〕

若教助陳申中一事一文無実謀計申上者、惣春日四所大明神、大仏尺迦如来、必可令罰給也、
一五

保延七年（一一四一）二月二十五日付・僧叡尊起請文案〔井坊氏文書、平安遺文二四四一号〕
宜仰釈迦大師・四天王之知見、

一六

久安二年（一一四六）十月四日付・左近衛府生公春盟書〔台記久安二年九月二十七日条裏書〕
若過之者、每毛孔可蒙中堂罰、

一七

久安四年（一一四八）四月十五日付・三春是行起請文〔百卷本東大寺文書、平安遺文二六四四号〕

若実申テ候ヲ不申ト申テ候者、東大寺大仏、葉師如来十二神将、鎮守八幡大菩薩、当所八所御靈、惣シテハ日本
朝中大小神祇冥道神罰冥罰蒙是行丸身候テ、現世貧窮無福シテ、後生断三世仏種、

一八

保元元年（一一五六）六月十三日付・僧某起請文案〔三寶院文書、平安遺文二八四二号〕

他門人、若背此旨者、宗之三寶護法天等并鎮守權現、忽而冥罰令滅亡、

一九

保元元年（一一五六）六月二十日付・權律師明海起請文〔三宝院文書、平安遺文二八四三号〕

若背此旨者、現世蒙仏天罰、永失冥加、後生墮惡趣、永不可有出離、

二〇

平治元年（一一五九）七月一日付・金剛峰寺官符等奉納狀〔高野山文書統宝簡集、平安遺文三〇〇〇号〕

若有乖趣（起）請之者、胎藏金剛諸尊、地主丹生明神、真言祖師、滿山護法、各鑑禁制之旨、宜加冥顯之譴者、

二〇ノ一

平治元年（一一五九）十二月付・金剛峰寺所司等下文〔高野山文書宝簡集、平安遺文三〇四四号〕

自今以後、雖一字、寄事於左右、令致対捍、又所司等、自分免之外、為拜他在家山上免を、令致阿党者、慥大師明神可令証判給之狀、如件、

二一

永曆元年（一一六〇）八月付・近江国某既住人等解〔京所大学所藏兵範記仁安三年正月巻裏文書、平安遺文三一〇二号〕

申不随之由者、可蒙東西楞嚴護法天等、山王七社冥罰ヲ住人等一々毛穴ニ、三日七日内可召蒙□、

二二

永曆元年（一一六〇）九月付・藤原景遠起請文〔石山寺所藏聖教目錄裏文書、平安遺文三一〇五号〕

若景季ニマレ遠宗ニ□レ又他人ニマレ仁快ヲ召返天景遠カ許ニ天モ他所ニ天モ責勘仕タル事有ラハ、日本國中一

切神祇冥道ノ罰ヲ景遠・景季・遠宗等、一々ニ可罷蒙也、

二二ノ一

永曆元年（一一六〇）十月二十日付・大和国榮山寺文書奉納狀〔榮山寺文書、平安遺文三一・一二号〕

若有違此誠之輩者、蒙春日大明神・本願聖靈冥罰、現生不幸短命、当世輪廻惡趣、仍起請而已、

二三

永曆二年（一一六一）三月二十二日付・橘恒元起請文〔仁和寺文書、平安遺文三一・四四号〕

自今以後、藤内景遠許へ罷り通じも仕り、景遠ニ方々寄ル心モ有リ、景遠カ事ヲ大事とも思ヒ、又景遠ニモ語ハレ、我カ心ヨリモ起リ天、座主御房ノ御事ヲ忽諸ニモ思ヒ奉ツリ、腹黒キ心モ有リ、乃至又御房中ニ祇候ノ人々沙汰人等ニ至ルマ天、腹黒ヲモ致シ、凡ソ少モ非常奸邪ノ心モ有リ、監吹不敵ノ事ヲモ仕ラハ、惣天ハ王城鎮守万三千七百余所ノ神々、別天ハ禅林寺石山等ノ護法善神等ノ罰ヲ、一々毛孔毎ニ蒙天、現世後界事不叶ハ、人間愛敬无ク、所求不遂爪、田畠耕作之間、年穀不登、以病為營、以乞食為依怙、屋モ无ク食モ无クシ天、道路ニ迷フ身ト成ラムト、

二四

永曆二年（一一六一）四月二十三日付・僧応順申狀〔法隆寺文書、平安遺文三一・五一号〕

若他処公券候ハ、七賞（生カ）三宝神罰明罰、□毛穴異令加不ら給へ、

二五

永曆二年（一一六一）七月六日付・聖人寛西祭文〔石山寺所藏聖教目錄裏文書、平安遺文三一・五五号〕

起請文等神文・罰文集成ならびに索引（稿）

敬白三世一切諸仏八万法藏十二部經地前地上諸天菩薩声聞緣覺一切賢聖衆、別白尊界会北斗七星七曜九執廿八宿五者眷屬四大天王司命都尉天曹郡尉冥官冥道鎮護國家諸大明神乃至尽虚空界護法天等、兼又王城鎮守天神地祇廿二社諸神、若景遠逝散之後、通消息对面テ善惡ニ付テ公御事ヲ申シ、兼又景遠カ離寺之間、彼カ物具一座ヲモ預置テ不預由ヲ申□、上件神祇冥道ノ神罰冥罰近三日遠七日カ内ニ、覺西毎毛毎ニ可当賜シ、（中略）事非虚

三寶知見給歟、

二六

永曆二年（一一六二）八月十三日付・沙門覺西起請文〔石山寺所藏聖教目錄裏文書、平安遺文三一六〇号〕

敬驚三世諸仏半滿聖教十方大士緣覺声聞梵天帝釈四大天王北斗七星諸曜宿等 魔法王太仙府君五道天神司命司錄王城鎮守諸大明神惣六十余州普天率土大小一切神祇冥道言、（中略）覺西若自本与景遠同意、惡様言談御事、又景遠逝脱之後、若通消息若对面、相向付善惡言談御事、又雖一塵預置景遠之物具、令言上不然之由者、上件三寶諸天神祇冥道、近三日遠七日之内、覺西一々毛孔可令当冥罰給也、（中略）冥仏神顯人間皆所令知見也、（中略）敢非虚言、仏天知見、

二七

応保二年（一一六二）四月十四日付・大和国安田莊住人為末仏聖米誓約文〔東大寺文書、平安遺文三二〇二号〕

ヨリテ神仏カケタテマツリテ、チカイヲタツルトコロナリ、大仏又シロシメシタルラム、

二八

応保二年（一一六二）閏十月八日付・僧敝成起請文〔石山寺所藏聖教目錄裏文書、平安遺文三二二九号〕

自今以後、若酒一杯之外重杯仕候者、王城鎮守八幡三所、賀茂下上、日吉山王七社、稻荷五所、祇園天神、別石山觀音卅八所之罰、三日若ハ七日之内、蒙加嚴成身毛穴、為無恣幸今生者加罷過と申、

二九

長寛二年（一一六四）十二月付・野口牧下司住人等解〔陽明文庫所藏兵範記仁安二年夏卷裏文書、平安遺文三三二四号〕

若此事以無実、出雲大明神兼御牧鎮守八大明神神罰之□、

三〇

永万二年（一一六六）三月二十二日付・散位足羽友包起請文〔石山寺所藏聖教目錄裏文書、平安遺文三三八七号〕

梵天王帝尺天衆五道冥宮（やみ）天王天衆四大天王日月御星二十八宿、殊王城鎮主十八大明神、鴨下上、八幡三所、松尾、稻□、平野、大原（野脱）、北野、別テハ当国鎮主山王七社王子眷属、隼部兵主三神大明神、当郡鎮主三尾十
九所大明神□八所、当御庄大井小井等大明神、惣日本国中六十余州一万□千七百余所有勢無勢大小神冥道、
前ニモ後日ニモ三尾御庄石山寺御領為御本家預所御惡言仕、又事ヲロカニモ当寺□候者、又預所乃田ニ
札立点定制止候田ヲ苅取候者□上件大小神儀冥道罰可散位足羽友包自身上近三日遠七日中毛蒙如拔、

三一

仁安四年（一一六九）三月付・大法師教高起請文〔興福寺本信円筆因明四相違裏文書、平安遺文三五〇〇号〕

若是申上虚言者、教高之身、御寺三宝春日大明神罰每毛孔罷蒙敷、

三一ノ一

嘉応二年（一一七〇）閏四月十五日付・僧欣西祭文案〔内閣文庫所蔵大和国古文書、平安遺文四八七一号〕

若所申有虚言者、別春日四所大明神并西金堂護法天竜証罰、近三日遠七日之中、每欣西之身一一毛孔、可罷蒙也、

三一ノ二

承安元年（一一七一）四月二十六日付・醍醐寺政所定文案〔三寶院文書、平安遺文三五七六号〕

若又後代（号脱カ）有讓与対捍寺役、非住僧之輩事者、顯者為当寺座主人、冥者清滝大明神、可令加治罰給也者、

三二

承安五年（一一七五）五月二十四日付・安倍利宗起請文〔東京大学所蔵東大寺文書、平安遺文三六八九号〕

先政所御制止之後、若両堂寄人ニ罷成候者、当御庄之鎮守大宅子ノ大明神を始奉、惣六十余州之大小明神之罰を八万四千毛孔毎ニ可蒙之状、

三三

安元二年（一一七六）八月二十九日付・藤原篤時起請文案〔台明寺文書、平安遺文三七七四号〕

若違背此旨、於令狩之輩者、召誠其身、可行過怠之状、

三三ノ一

治承四年（一一八〇）四月十二日付・平季広起請文〔元暦元年四月付・後白河院庁下文案所引、高山寺文書、平安遺

文四一六六号〕

若者悪言奇恠、兼又背領家御下知、令忽諸仰旨者、奉始王城鎮守諸大明神、日本朝中大少神祇罰季広身可罷蒙也、

三三ノ二

治承四年（一一八〇）八月付・源貞弘田畠寄進状案〔金剛寺文書、平安遺文三九二二号〕

若背此旨致妨輩、可蒙現則公家治罰、冥則十大金剛二十天等神罰矣、

三四

治承五年（一一八一）正月付・中原兼遠起請文〔源平盛衰記卷二十六・兼遠起請事、新定源平盛衰記〕

上は梵天・帝釈、四大天王、日月三光、七耀九星、二十八宿を始め奉り、下は内海・外海龍神八部、堅牢地祇、冥官・冥衆、日本國中七道諸国の大小の諸神、鎮守王城の諸大明神、驚かし申して白さく、（中略）若し偽り申さば、上件の神祇冥衆の罰を、兼遠が八万四千の毛孔に蒙りて、現世・当来永く神明仏陀の利益に漏れ奉るべきの起請の状、

三四ノ一

養和元年（一一八一）十一月七日付・山城国賀茂別符莊所役注進状〔京都大学所蔵東大寺文書、平安遺文四〇〇九号〕

若以虚言恣構申無実者、奉始大仏八幡、惣六十余州普天率土大小神祇冥道之罰ヲ連判之輩身上、各可罷蒙之状、如件、

三五

寿永元年（一一八二）八月二十一日付・東大寺小綱俊成起請文〔百卷本東大寺文書、平安遺文四〇四七号〕

若仏聖米雖合夕已用仕候者、小綱俊成之身、可罷蒙大仏四王八幡大菩薩、并日本国中神祇冥道神罰候之状、

三六

寿永元年（一一八二）八月二十五日付・藤原宗末起請文〔東京大学所藏雜文書、平安遺文四〇五〇号〕

件券宗末乍持不持卜申候者、当国当郡鎮守、殊ハ字奈根大家子大明神、別ハ大仏八幡之罰、藤原宗末身每毛穴可蒙罷候者也、

三七

元暦二年（一一八五）正月十九日付・僧文覚起請文〔神護寺文書、平安遺文四八九二号〕

若於背此旨之輩者、内鎮守八幡大菩薩并金剛天等、早令加治罰、外満山之僧侶同心簡括、速可令擯出也、

三八

元暦二年（一一八五）三月五日付・金剛峰寺下政所三方百姓等起請文〔高野山文書統宝簡集、平安遺文四二三七号〕

若以虚言如此申上候者、可罷蒙大師・大明神・金剛天等冥罰、各々之身上候申、

三九

元暦二年（一一八五）五月付・源義經書状〔吾妻鏡文治元年五月二十四日条、新訂増補国史大系〕

因茲、以諸神諸社牛王宝印之裏、全不挿野心之旨、奉請驚日本国中大小神祇冥道、雖書進数通起請文、

四〇

文治二年（一一八六）三月七日付・僧聖心讓狀〔醍醐寺文書、鎌倉遺文六九号〕

唯願、伽藍護法大聖明王執金剛神十六大護請勸護法、（中略）若強背遺言者、我家五大忿怒・十大金剛之許、忽善惡靈令治罰彼偽弟、

四一

文治二年（一一八六）十二月二十三日付・法隆寺三綱等請文〔法隆寺東院緣起、鎌倉遺文一九九号〕

若虚言申者、太子聖皇伽藍鎮守、惣日本六十余州大小諸神冥罰神罰、每寺僧等一々毛孔可罷蒙者、

四二

文治三年（一一八七）五月一日付・後白河法皇起請文〔高野山文書宝簡集、鎌倉遺文二三〇号〕

仰願大師聖靈、伏乞護法天等知見証明、（中略）冥任大師之照鑑、

四三

文治三年（一一八七）付・僧重源起請文〔周防阿弥陀寺文書、鎌倉遺文二九二号〕

於有我背誓願輩者、真影出寺外、閉門戸、止三時勤行、不鳴鐘鼓、不備花香日餉、其時觀現天地長夜暗念、於此無順念者、現世白癩黑癩等無數授惡病、放数万魔軍眷属、彼等之每日三時火燒三昧遷、子孫破旬之令結惡縁、当ニハ無間阿毘獄之墮極暗、牛頭馬頭阿妨羅刹、刀山鋸樹、斫破磨擣等之与苦患、（中略）如斯悲願、一モ有虚誓者、背我本地四十八願念、偏三会眺弥勒出世、同体別体、常任三宝御罰、每八万四千毛穴、可罷蒙者也、

四四

文治五年（一一八九）三月二十一日付・田中成清願文案〔菊大路家文書、鎌倉遺文三七五号〕

大師明神八幡三所部類眷属本尊十二大願薬師如来不動毘沙門四八大日光月光十二神将七千夜叉、勸請諸神百廿伴日本国中大小神祇等、速可加冥譴者也、（中略）沙汰人百姓等背此旨、速損失、

四五

文治六年（一一九〇）三月付・鹿島大神宮神官等解〔鹿島大禰宜家文書、鎌倉遺文四三三号〕

此条偽言、今更令構言上者、連署神官等可蒙大明神罰也、

四六

建久三年（一一九二）正月十五日付・鑲阿下文〔高野山文書宝簡集、鎌倉遺文五七五号〕

若有令相違之輩者、冥背両部諸尊并大師明神御意、願成令忽諸太政法皇御願、其恐甚可深重、此上庄官百姓等、自及後代、恣致濫訴、不用寺家下知、有好乱行輩者、遠蒙両界諸尊并大師明神罰、近当御庄鎮守八幡大菩薩并御

庄内大小諸神罰、（末尾の異筆部分の同文は省略した）

四七

建久三年（一一九二）正月付・院庁定文案〔新熊野神社文書、鎌倉遺文五七九号〕

亦違此符之者、九五之聖主嚴加教誡、十二之權化忝垂証明者、

四七ノ一

建久三年（一一九二）正月付・長講堂定文案〔伏見宮記録、鎌倉遺文五八〇号〕

誠雖毫末遲（違カ）之、雖針鋒乖之輩者、国主皇帝敕令教誡、護法善神必垂証明、（中略）遠及七代永加冥譴、不成二世、墜在惡趣者、

四八

建久三年（一一九二）九月二十七日付・僧重源下文〔播磨淨土寺文書、鎌倉遺文六二二一〕

若向後院主住僧若庄務奉行輩中、違背此狀類出来者、是則仏道魔縁、寺家怨敵也、両堂三宝守護善神、令与冥顯之罰、現世受白癩黑癩身、後生墮無間地獄底、

四九

建久四年（一一九三）二月付・紀伊荒川莊没官田畠支配狀〔高野山文書続宝簡集、鎌倉遺文六五九号〕

若山上山下沙汰人并満寺大衆中、或彼等得私語、或耽追從賄賂、成盛景万人、雖段歩於令免除名田畠之輩者、冥大師明神両部諸尊八大忿怒金剛天等、蒙治罰於其身、顯満山諸衆一味同心、可加治擯也、

五〇

建久四年（一一九三）八月付・源範頼起請文〔吾妻鏡建久四年八月二日条所引、新訂増補国史大系〕

万之一仁毛令違犯此文者、上梵天帝釈、下界伊勢、春日、賀茂、別氏神正八幡大菩薩等之神罰於、可蒙源範頼身也、

五一

建久五年（一一九四）正月二十八日付・下屋五学坊讓狀〔上野下屋文書、鎌倉遺文七〇七号〕

この状のおもむきおそむきそむかむ物ハ、二所ミタうの御はちおこうふるへし、

五二

建久五年（一一九四）七月七日付・備後大田莊相折帳〔高野山文書宝簡集、鎌倉遺文七二九号〕

及後代ニ如此之一々事、令違背之輩出来者、顯者妨法皇御願、国家之敵人也、冥者背大師御意、自仏身可為出血者、然則金剛・胎藏両部諸尊、丹生・高野大師・御勸請諸神等、伽藍護法十八善神、満山三宝護法天等、梵尺四王諸天善神・天照大神・正八幡宮、王城鎮守諸大明神、乃至日本國中三千一百三十二社、尽空法界一切諸神等罰ヲ、可蒙一々身ノ毎毛穴者也、現者忽受白癩之病、感得不交人之果報、当者入阿鼻大城之中、永無有出期、

五三

（無年号）七月十六日付・菅原ともすけ書状案〔僧綱申文裏文書、鎌倉遺文七八七号〕

そのよせふみに、よのすへに、このほうをた□人いてこは、すみやかにたまむ天神のはちを□ふりて、なか
く二世のよそみをたち、そのしそむを、は□（ろほ力）したまへとかきをかれて候、

五四

建久六年（一一九五）六月十四日付・源義兼起請文案〔河内金剛寺文書、鎌倉遺文七九九号〕

至後代欲致妨候者、八幡大菩薩并王子眷属可令御知見給之状、

五五

建久七年（一一九六）七月二十一日付・大江良永起請文〔東大寺文書、鎌倉遺文八五八号〕

自今以後、若東大寺御方一塵事故忽諸、尚彼寺寄人罷入候者、奉始梵天帝釈四大天王、惣王城鎮守賀茂下上等大明神、殊別当寺鎮守八幡大菩薩神罰冥罰お良永之身、毎毛穴可罷蒙也、

五六

建久七年（一一九六）十二月十一日付・大江吉永起請文〔東大寺文書、鎌倉遺文補一九四号〕

若自今以後、彼寄人尔毛罷入兼御寺衛事当御庄御苑等事、一塵毛致疎略忽諸者、奉始梵天帝釈四大天王、王城鎮守八幡大菩薩賀茂下上松尾稻荷平野北野大明神惣六十余州大少神祇、別当寺大伽藍護法鎮守大菩薩神罰冥罰於、吉永一々毎毛吼可罷蒙者也、

五七

（無年月日）・小槻降職起請文〔書陵部谷森文書、鎌倉遺文一〇〇六号〕

もしなかなりかゆつりをえてえすとも申し、又すへていま申あけ候□（事カ）、ひと事として、そら事をも申あけ候ハ、けんせにハ伊勢太神宮の神罰をまかりかふ□（りカ）候ひて、しそんなかくきみにつかまつらす、こせにハ三あくたうにおちて、なかくうかふこ（期）なき身にまかりなり候へし、

五八

正治二年（一二〇〇）三月十日付・周防国在庁官人起請文案〔周防阿弥陀寺文書、鎌倉遺文補三六〇号〕

若背此状者、大仏同守護善神八幡大菩薩・春日御宮・十八善神王、別者当国鎮守二百余社・一宮・二宮・天満天神宮神罰冥罰於連判在庁官人等毎毛穴可罷蒙之状如件、

五九

正治二年（一二〇〇）九月八日付・淡路賀集莊預所某起請文〔小松本淡路古文書、鎌倉遺文補三六七号〕

若出来貪狼之沙汰人、若有誑或之百姓、或号火急之公事料、借用之、或称水旱之損亡、致未進之者、法会天魔、

仏法怨敵也、頭訴申本家、追却御庄内、随輕重之科、可行罪科也、冥十方三世諸仏并梵天・四王・天龍八部、琰魔法王・五道將軍・泰山府君等冥衆、牛頭天王・頗梨采女・八大王子・地毒氣神子冠日等部類神等、惣大日本国五畿七道六十余州大小神祇、別王城鎮守諸大明神、当国十一ヶ所諸大明（神脱力）并瑜鶴羽十二所權現、殊当所鎮守八幡三所若宮・子守武内竈神殿・河原松童等諸大明神、殊別丹生高野両所大明神使者眷属、北野天満大自在天神等、兼一切経王五千三百五十一卷、所々道場発誓護持之護法聖衆等、神罰冥罰、可蒙每亡死也、現世受飢餓役勵白癩黄且等種々病患後、忽墮三途八難黑繩紅蓮等所々地獄、無期究出、

六〇

正治二年（一二〇〇）十一月八日付・周防国司庁宣案〔周防阿弥陀寺文書、鎌倉遺文一一六一号 ※六一参照〕

若向後有不道之輩邪見類、顛倒用途免地、而退失念仏溫室者、一宮・玉祖・天満天神・春日・八幡等守護善神王并寺内三宝、令与冥顯之兩罰、現世受白癩黑癩之身、後生墮無間地獄底、

六一

正治二年（一二〇〇）十一月付・周防国在庁官人置文〔東大寺文書、鎌倉遺文一一六三号〕

若向後有不道之輩邪見之類、令顛倒彼寄進之免地者、在庁官人等各寄合訴申子細、可沙汰直、而若擬失念仏溫室之人、令合力同意者、先大仏、同守護神八幡大菩薩・春日御宮・十八善神王、別者当国鎮守二百余社・一宮・二宮・天満天神宮神罰冥罰ヲ連判之在庁官人等、每毛穴可罷当之状、

六一ノ一

建仁元年（一二〇一）九月付・興福寺堅義起請文案〔大和春日神社文書、鎌倉遺文一二四四号〕

背此起請而於賜堅義請非唯識講衆者、可処罪科□、

六二

元久元年（一二〇四）八月二十八日付・大江康直起請文〔東大寺文書、鎌倉遺文一四七五号〕

若乍同心虚言申上候者、大仏八幡并庄内諸神、惣六十余州之大小諸神、神罰冥罰ヲ可罷蒙康直之身狀、

六三

元久元年（一二〇四）九月付・伊賀黒田莊百姓申狀案〔東大寺図書館所蔵俱舍論第八九卷抄裏文書、鎌倉遺文一四七七号〕

無実虚言令言上者、先上奉始自梵天帝尺、下迄堅牢地神、殊（不脱カ）別昼夜□（各カ）奉仰大仏八幡・庄内鎮

守明神等并王城鎮守諸大明神、□者大日本國中所有神祇冥道之罰、一庄一味先日連判衆之身、□

□明鏡也、誰人不恐冥鑑哉、

六四

元久元年（一二〇四）十一月七日付・源空起請文〔漢語燈録、鎌倉遺文一四八八号〕

所陳若以虚欺、日別七万念仏、空失其利、現当二世常沈重苦、永受楚毒、無免出期矣、伏乞一切三宝護法諸神、

証明知見、

六五

元久元年（一二〇四）十二月付・僧繼尊申狀案〔山城醍醐寺文書、鎌倉遺文一五一三号〕

若自初于今、乍同意謀叛人、不同意之由詐申者、忝二所太神宮、八所別宮・熊野三所權現・八幡大菩薩、惣王城

起請文等神文・罰文集成ならびに索引（稿）

起請文等神文・罰文集成ならびに索引（稿）

鎮守諸大明神、凡日本国中大少神祇冥道、本寺三宝両界諸尊・金剛藏王之罰、近三日遠七日内毎八万四千毛孔可蒙繼尊之身也、後身者又別九品之蓮台、永受三途之苦患、

六六

建永元年（一二〇六）九月付・清原高正起請文〔高野山文書又統宝簡集、鎌倉遺文一六四二号〕

若^レ乍如是申請、猶致未進候者、可蒙大師・大明師・金剛天等六十余州大小神祇御罰高正身候、

六七

承元二年（一二〇八）十月二十二日付・宇治これなかり請文〔肥後阿蘇文書、鎌倉遺文一七六一号〕

かけまくもとろしき、そらには大ほんでうわう、たいしゃくてんす、下ニハほんのちんす八まんたいほさつ、わう上ちんす、かもけしやう・まつのを・ひらの・きをんこつてんわう・いなり太みやうしん、とりわきてたうこくのちんす、あそ十二く・たつわら七十よそ、たうかうのちんす、にしのみやたいみやうしん・きをん・やはた、そうしてハ、六十よしうのたいせうのしよしむをとなへ申、

右、事のゆへんハ、しんたいくうしとのニ、これなかと、おやのこけちのち、そりやうにつけられそりやうにつけられ候も、又々公事につけ候ひても、畢竟大くしとのゝをん事、はらくろをもおもひよりつるせんそのゐんに候はんとも、おもひ候ハ、かみぐんたのかみ／＼のはち、これなかみニ、まかりかふり候へし、

六八

承元三年（一二〇九）八月付・讃岐国司庁宣〔讃岐善通寺文書、鎌倉遺文一八〇五号〕

而不顧起請之奥旨、若有停廢之国司者、忽蒙大師冥譴、無成二世之悉地、中心所誓、大師証明者、

六八ノ一

承元四年（一二二〇）十二月二十八日付・逆部包行置文〔百卷本東大寺文書、鎌倉遺文一八五四号〕

若自今以後、付此平田地公事者、可蒙仏神罰候、

六八ノ二

建暦二年（一二二二）正月二十七日付・丹生則道讓狀〔紀伊丹生家文書、鎌倉遺文一九一三号〕

若妨此職者、可蒙神冥之罰也、

六九

建暦二年（一二二二）十二月二十六日付・良算起請文〔明本抄日記、鎌倉遺文補六〇〇号〕

若背起請旨者、春日大明神・七堂三宝神罰冥罰、可罷蒙于良算身八万四千毛孔狀如件、

七〇

建暦三年（一二二三）正月十一日付・貞慶起請文〔山城海住山寺文書、鎌倉遺文一九六六号〕

若背此制、或引導、或竊同心者、満山永可処罪科、護法可加冥罰、（中略）観音・大明神御冥罰、深可恐之、

七一

建暦三年（一二二三）四月付・天台座主慈円配分狀〔華頂要略、鎌倉遺文二〇〇一号〕

其真実之所歸、只任三宝神明知見而已、

七二

建暦三年（一二二三）閏九月付・東大寺領某莊注進狀〔東大寺図書館所蔵華嚴宗論義抄下裏文書、鎌倉遺文二〇三五

号」

若此条虚言申上候者、奉始梵天帝尺、殊大仏・八幡、当御庄鎮守朝日・椿・今熊野等、惣六十余国大小神祇罰、連判百姓等身上一一每毛穴、三日七日之内可蒙候者也、仍請天罰如右、

七三

建保二年（一二一四）二月付・大中臣助繼山野等寄進状案〔河内金剛寺文書、鎌倉遺文二〇八九号〕

若背此旨、致妨輩、可蒙現則公家治罰、冥則護法神罰矣、

七四

建保三年（一二一五）十二月二十七日付・僧円意起請文〔筒井英俊所藏文書、鎌倉遺文補七〇一号〕

若乍有申無と候ハ大仏・八幡・春日大明神、七堂ノ三宝、惣者、日本国中之大少神祇冥道罰、僧円意之蒙可状如件、

七五

建保三年（一二一五）十二月二十九日付・入道行円田地讓状〔紀伊土屋家文書、鎌倉遺文二二〇二号〕

若此旨背人者、不可有一家、可放、又兵衛尉僻事有時ニハ各不用、又八幡大菩薩神罰各身上可罷蒙、

七五ノ一

建保三年（一二一五）十二月付・大和勾田莊用途注文〔三箇院家抄、鎌倉遺文二二〇五号〕

於内院之聖衆、偏請現罰於春日之靈社、

七六

建保四年（一二一六）八月十三日付・小野供御人起請文案〔壬生家文書、鎌倉遺文二二五七号〕

若背御下知□（虫食）、伊勢大神宮、殊別当所上下鎮主大明神罰ヲ可能蒙□、（不見）

七七

建保六年（一二一八）八月一日付・僧実鑊田地寄進状〔金剛峰寺文書、鎌倉遺文二三八八号〕

大師三宝必加知見、（中略）此若虚言者、蒙而部諸尊・大師・三宝之治罰、可為不取菩提之身、

七八

建保七年（一二一九）正月二十七日付・大江忠信曳進状〔筑後鷹尾文書、鎌倉遺文二四二五号〕

如仰誓状仁申請候処、□（件カ）田令曳進之故仁、御目代殿ヲ不審仁毛思參候ハ、普天□權実神祇冥道御罰ヲ、大江忠信五体身分罷蒙可、

七九

建保七年（一二一九）三月十四日付・海住山寺衆僧連署起請文〔海住山寺文書、鎌倉遺文二四八一号〕

若件状虚言申候者、当山観音・大明神・天神護法等神罰冥罰、寺僧等之身可罷蒙之状如件、

八〇

承久元年（一二一九）六月十九日付・勝尾寺三箇御頭職置文〔摂津勝尾寺文書、鎌倉遺文二五三〇号〕

若上件於違背僉議之状輩者、三所権現十八善神伽藍護法等、可蒙刑罰者也、

八一

承久二年（一二二〇）六月付・某莊官等解〔民經記寛喜三年五月卷裏文書、鎌倉遺文二六一九号〕

□御庄鎮守河内大明神神爵冥爵御庄官□〔百力〕姓等之身每毛穴罷蒙者也、

八二

承久二年（一二二〇）七月十三日付・高野山衆徒置文〔高野山文書又統宝簡集、鎌倉遺文二六二六号〕

背此置文之輩者、大師明神之怨敵也、永可擯出、

八二ノ一

（無年月日）・慈円書狀〔門葉記、鎌倉遺文二六九八号〕

若此中心偽申候ハ、神明ハ大神宮・八幡以下、仏法ハ天台・法相之三寶、一々其身ニ現当二世可令与其罰給候也、

八三

承久三年（一二二一）二月二十一日付・実鑲田地寄進狀〔高野山文書又統宝簡集、鎌倉遺文二七二六号〕

若有非法虚用之輩者、可蒙大師三宝之冥譴者、

八四

承久三年（一二二一）十月二十八日付・安倍氏女起請文案〔山城神護寺文書、鎌倉遺文二八五四号〕

もしとして、れせいのさんにとのにても、すけつくにても、あしりのゆつりふみ、まいらせて候ハ、にほんこくのかみほとけのにくまれを、けのあなにかうふり候て、けをこしやういたつらにてはて候へし、

八五

承久三年（一二二一）閏十月二十三日付・中臣宗直田地売券〔撰津吉田文書、鎌倉遺文二八七七号〕

但及末代致妨輩者、現世受白癩黒癩重蒙七難、未來墮無間地獄、永無出離期、

八六

承久四年（一二二二）正月十九日付・僧弁意等連署起請文案〔内閣文庫所藏雜古文書、鎌倉遺文二九一六号〕

上件条若虚言申者、自上梵天・帝尺四大天王奉始、三界所有神祇冥道、殊大仏八幡冥顯境界之爵、已上五人輩、各身八万四千毛穴可罷蒙狀、

八七

貞応元年（一二二二）七月十日付・紀伊南部莊年貢請所注進案〔高野山文書又続宝簡集、鎌倉遺文二九七七号〕

若虚言偽申上候者、奉始上梵天帝釈・四大天王、三界空居四禅八定天王天衆、下至于率土之上若干大小諸神部類眷屬神罰ヲ、沙汰人百姓等八万四千每毛空（穴カ）、近者三日遠者七日内、可能蒙候、

八八

貞応元年（一二二二）九月十六日付・僧教俊起請文〔百卷本東大寺文書、鎌倉遺文二九九九号〕

若為通当難申虚言者、奉始大仏八幡・春日權現、惣者六十余州大小神罰冥罰、每教俊之身八万四千毛口（孔）、可罷蒙之狀如件、

八九

貞応元年（一二二二）十月十八日付・入道道助親王起請文〔仁和寺文書、鎌倉遺文三〇〇六号〕

亦背起請之遺詞、奉渡此仏經壇具等者、永非門徒、金剛天等護法善神、必加速疾之証罰、可失現当之利益、

九〇

貞応元年（一二二二）十月付・定使吉久請文案〔壬生家文書、鎌倉遺文三〇一二号〕

もし此旨をきやうこうそむき、一せんにても□日番段別の松を相そへ候て、取事候ハム、小野上下大明神御はちを、なかくかうむりて、□定使職をめしはなされ、他人ニ仰付らるへく候、

九一

貞応二年（一二二三）四月付・淡路国太田文〔下野皆川文書、鎌倉遺文三〇八八号〕

此外若虚言注申者、王城鎮守諸大明神、当国鎮守十一箇所大明神神罰冥罰、在庁等身可蒙候者也、

九二

貞応二年（一二二三）十月二十日付・近江葛川住人起請文〔国会図書館所蔵葛川明王院文書、鎌倉遺文三一六五号〕

大講堂中摩訶毘盧遮那如来、根本中堂薬師如来、転法輪堂釈迦牟尼如来、首楞嚴院三尊界会、南山大聖不動明王、惣一山九院護法聖衆、上梵天帝釈四大天王、下炎摩王分五道冥道、殊王城鎮守八大明神、別山王七社王子眷属、取別葛川領（鎮カ）守地主大権現八大金剛童子、惣大日本国中太少諸大明神每驚白言、

（中略）尚背起請文者、連判六人之御山住人身八万四千毛穴毎、奉始大聖明王金剛童子、惣勸請神罰冥罰交名六人、可蒙之状如件、

九三

貞応三年（一二二四）十一月付・法印棟清契状〔石清水文書、鎌倉遺文三三一八号〕

若此条偽申者、可罷蒙八幡大菩薩神罰之狀如件、

九四

貞応三年（一二二四）十一月付・法印宗清契狀案〔石清水文書、鎌倉遺文三三一九号〕

若此条偽申者、可罷蒙八幡大菩薩神罰之狀如件、

九五

嘉祿元年（一二二五）九月二十四日付・法印宗清契狀案〔石清水文書、鎌倉遺文三四〇八号〕

若耽此奇謀甘言、別当幸一与宗一成同心之思、奉背御辺、令同意御所帶〔弥勒寺正宮〕濫望之結構者、八幡大菩薩神罰可罷蒙之狀如件、

九六

（年月日欠）法印棟清契狀〔石清水文書、鎌倉遺文三四一〇号〕

若偽申者、八幡大菩薩神罰を可罷、

九七

嘉祿二年（一二二六）正月付・舞師大神是茂起請文〔春日神社文書、鎌倉遺文三四六一号〕

若此事以虚言申上候者、春日大明神・七堂三宝罰、可罷蒙是茂之身狀如件、

九八

嘉祿二年（一二二六）四月付・覚阿申狀〔仁和寺文書、鎌倉遺文三四八三号〕

所申若存一事矯飾者、如本願上人誓狀、満山護法善神・八大金剛等、可加治罰失、

起請文等神文・罰文集成ならびに索引（稿）

九九

嘉祿二年（一二二六）十一月六日付・詫磨親秀起請文案〔豊後詫摩文書、鎌倉遺文三五四二号〕

此条、一々に偽申候はゞ、日本ちんす八幡大、わうしやうのちんすかも下上・くまのゝこんけん、とりわけてハ、わかミや大井・二所のこんけん、すへてハ日本六十よ州の大小のかミ　の御はつを、藤原親秀かミのうへの、八まん四セんの毛穴毎に可罷蒙之状如件、

一〇〇

嘉祿三年（一二二七）二月付・周防多仁莊百姓解〔九条家冊子本中右記元永元年七月十一月卷裏文書、鎌倉遺文三五八〇号〕

若申状旨、於一虚偽申上者、日本国中五畿七道大小神祇冥顯、別当庄鎮護石城三所大権現神罰、連署百姓身中毎毛孔可蒙者也、

一〇一

嘉祿三年（一二二七）七月十日付・千阿弥陀仏施入状〔高野山寂靜院文書、鎌倉遺文三六四〇号〕

若背此旨、有致違乱之輩者、常住本尊護法善神速垂明鑑、須加証罰而已者、

一〇二

安貞二年（一二二八）十二月四日付・沙門深阿等連署起請文〔筑後善導寺文書、鎌倉遺文三七九五号〕

若可違如此之制誡者、不蒙三世諸仏、殊尺迦弥陀之冥助、永以無間獄可為棲之状如件、

一〇三

安貞二年（一二二八）十二月十五日付・学頭等連署田地壳券写〔河内金剛寺文書、鎌倉遺文三七九九号〕

若於此田地、致妨之輩者、併大日如来怨敵也、定被加十大金剛天等治罰者歟、

一〇四

安貞二年（一二二八）十二月付・橘大威徳丸田地相博状〔大和法隆寺文書、鎌倉遺文三八〇二号〕

若未代致妨輩出来者、任太子聖靈御誓文、授内白癩黒癩之病□〔外力〕□犯罪科処也、

一〇五

寛喜元年（一二二九）七月十七日付・定真起請文〔山城三千院文書、鎌倉遺文三八四五号〕

若背此旨、於今還住高雄候者、可罷蒙両部諸尊十方三世之諸仏、大師三宝冥罰於定真之身八万四千每毛孔之状如件、

一〇六

寛喜二年（一二三〇）三月七日付・八幡新田宮所司神官等起請文案〔薩藩旧記、鎌倉遺文三九六九号〕

若件条虚言ヲ申候者、日本鎮守八幡三所大菩薩、当国鎮守開門正一位所大明神、惣普天率土十余州大小神祇冥道乃□〔罰力〕、所司神官等乃身、一々毛穴每可罷蒙之状如件、

一〇七

寛喜二年（一二三〇）七月十一日付・東大寺衆徒等起請文〔春夏秋冬月抄草、鎌倉遺文補一〇〇九号〕

違背衆議之輩出来者、日本国中大小神祇冥道、殊吾大仏八幡神之冥々每之身八万四千之毛孔、可罷蒙之状如件、

一〇八

寛喜三年（一二三二）四月付・藤原景基寄進狀〔紀伊施無畏寺文書、鎌倉遺文四一三七号〕

（奥書）若背斯旨之輩出来者、冥専蒙伽藍護法譴責、并可漏上人御房値遇之善縁也、

一〇九

貞永元年（一二三二）七（八イ）月十日付・幕府評定衆連署起請文〔貞永式目後付、鎌倉遺文四三四一号〕

此内若雖一事存曲折、令違反者、梵天帝釈四大天王、惣日本国中六十余州大小神祇、別伊豆宮根所權現・三嶋

大明神・八幡大菩薩・天満大自在天神部類眷属神罰冥罰於、各可罷蒙也、

一一〇

貞永元年（一二三二）八月十日付・藤原家長等連署起請文写〔豊後深山八幡宮文書、鎌倉遺文四三五八号〕

所權現・三嶋大明神・八幡大菩薩・天満大自在天神部類眷属神罰冥罰、各可罷蒙也、

神文・罰文索引（稿）

【仏教の世界観】

大地獄 一（墮——）、二（終当落——）、三（終当落——）、四（終当墮——）

阿鼻地獄 六（必墮在——）

三途八難 一〇（可隨——）

無間地獄 九ノ一（可墮落无間獄）、四八（墮——底）、六〇（墮——底）、八五（墮——）、一〇二（永以無間獄可為棲）

惡趣 一九（墮——）、二二ノ一（輪廻——）、四七ノ一（墜在——）

無間阿毘獄 四三（——之墮極暗）

牛頭馬頭阿妨羅刹、刀山鑊樹、听破磨擣等之与苦患 四三

阿鼻大城 五二（入——之中）

三あくたう 五七（——におちて、）

三途八難黑繩紅蓮等所々地獄 五九（忽墮——無期究出）

三途 六五（永受——之苦患）

【諸仏・諸菩薩・諸天・護法神・諸經等】

十方三世諸仏菩薩・一切賢聖 二（必得破辱——之罪）、三（必得破辱——之罪）、四（必得破辱——之罪）

十方一切諸天 二、三、四

梵天（梵王）帝釈（帝尺） 二、三、二六、三〇（梵天王帝尺天衆）、三四、五〇、五二（梵尺）、五五、五六、

六三、六七（大ほんでんわう、たいしゃくてんす）、七二、八六、八七、九二、一〇

九 ＊↓梵天（梵王）

四大天王（四天王） 二、三、一五、二五、二六、三〇、三四、三五、五二（四王）、五五、五六、五九、八六、

八七、九二、一〇九

天龍八部 二、三、五九

金剛密跡 二、三 *↓執金剛神

（護法）護塔大善神王 二、三、四、五 *↓護法（護法天）

梵天（梵王） 四、五、五九

諸仏菩薩 五

諸天 五

三宝 七（住持——）、一八（宗之——）、二四（七寶（生力）——）、二五（——知見）、三一（御寺——）、四三

（同体別体、常任——）、四八（兩堂——守護善神）、五二（満山——護法天）、六〇（寺内——）、六五

（本寺——）、六九（七堂——）、七四（七堂ノ——）、七七、八三、九七（七堂——）、一〇五

護法天（護法） 七、八、一八、二〇（満山——）、二二（東西楞嚴——）、二三（——善神）、二五（尽虚空界

——）、四〇（伽藍——……十六大護請勸——）、四二、五二（満山三宝——）、五六（当寺大伽

藍——鎮守大菩薩）、五九（所々道場発誓護持之——聖衆）、六四（一切三宝——諸神）、七〇、

七三（——神）、七九（天神——）、八〇（伽藍——）、八九（——善神）、九二（一山九院——

聖衆）、一〇一（常住本尊——善神）、一〇八（伽藍——） *↓（護法）護塔大善神王

天 八

大仏尺迦如来 一四 *↓大仏

釈迦大師 一五

中堂 一六

東大寺大仏、薬師如来十二神将 一七 *↓大仏

仏天 一九、二六(——知見)

両部(両界)諸尊 二〇(胎藏金剛諸尊)、四六、四九、五二(金剛胎藏——)、六五、七七、一〇五

満山護法 二〇

東西楞嚴護法天 二一

禅林寺石山等ノ護法善神 二三

護法善神 二三、四七ノ一、八九

三世一切諸仏(三世諸仏) 二五、二六、一〇二(……之冥助) *↓十方三世諸仏

八万法蔵十二部経 二五

地前地上諸天菩薩声聞縁覚、一切賢聖衆 二五

尽虚空界護法天 二五

半満聖教 二六

十方大士縁覚声聞 二六

大仏 二七、三四ノ一(——八幡)、三五(——四王八幡大菩薩)、三六(——八幡)、六一、六二(——八幡)、

六三(——八幡)、七二(——八幡)、七四(——八幡春日大明神)、八六(——八幡)、八八(——八幡春

日権現)、一〇七(——八幡神)

起請文等神文・罰文集成ならびに索引（稿）

石山觀音 二八（――卅八所）

西金堂護法天竜 三二ノ一

十大金剛 三三ノ二（――二十天等）、四〇、一〇三（――天）

二十天 三三ノ二

龍神八部 三四（内海外海――）

堅牢地祇（神） 三四、六三

金剛天 三七、三八、四九、六六、八九（――等護法善神）

伽藍護法大聖明王執金剛神十六大護請勸護法 四〇

大聖明王 四〇、九二

執金剛神 四〇 *↓金剛密跡

十六大護請勸護法 四〇

五大忿怒 四〇

十大金剛 四〇、一〇三（――天）

同体別体、常任三宝 四三

本尊十二大願藥師如來…… 四四

不動毘沙門 四四

四大八大 四四

日光月光 四四
十二神将 四四
七千夜叉 四四
両堂三宝守護善神 四八
八大忿怒 四九
二所ミたり 五一
伽藍護法 五二、八〇、一〇八
十八善神 五二、五八（——王）、六一（——王）、八〇
満山三宝護法天 五二
諸天善神 五二
当寺大伽藍護法鎮守大菩薩 五六
大仏同守護善神…… 五八、六一（大仏、同守護神……） *↓大仏
十方三世諸仏 五九、一〇五 *↓三世一切諸仏（三世諸仏）
所々道場発誓護持之護法聖衆 五九
一切経王五千三百五十一卷 五九
守護善神 六〇
金剛蔵王 六五

満山 七〇

観音 七〇、七九（当山——）

護法神 七三

天台・法相之三寶 八二ノ一

三界空居四禪八定天王天衆 八七

大講堂中摩訶毘盧遮那如来 九二

根本中堂薬師如来 九二

転法輪堂釈迦牟尼如来 九二

首楞嚴院三尊界会 九二

南山大聖不動明王 九二

一山九院護法聖衆 九二

八大金剛 九二（——童子）、九八

満山護法善神八大金剛 九八

常住本尊護法善神 一〇一

尺迦弥陀 一〇二（——之冥助）

大日如来 一〇三

【天神地祇・鎮守神等】

普天率土有大威力天神地祇 二、三

普天率土有勢威力天神地祇 四

普天率土天神地祇 五

八幡（八幡大菩薩） 六、一三（大菩薩）、一七（鎮守——）、二八（八幡三所）、三〇（八幡三所）、三四ノ一、

三五、三六、三七（鎮守——）、四四（八幡三所）、四六、五〇（氏神正——）、五二（正八

幡宮）、五四、五五、五六、五八、五九（八幡三所若宮）、六〇、六一、六二、六三、六

五、六七（八まんたいほさつ）、七二、七四、七五、八二ノ一、八六、八八、九三、九四、

九五、九六、九九、一〇六（八幡三所大菩薩）、一〇七（八幡神）、一〇九、一一〇 * ↓

やはた

氣比氣多 六

五百余所 六

廿五所 六

□大明神 六

天麻大明神 七

雷氣大明神 七

塔立大明神 七

燕津大明神 七

(熊野) 権現王子眷屬神 九ノ二

王子眷屬神 九ノ二、五四(王子眷屬)

春日(四所) 大明神 一四、二二ノ一、三一、三二ノ一、五〇(春日)、五八(春日御宮)、六〇(春日)、六一

(春日御宮)、六九、七四、七五ノ一(春日之靈社)、八八(春日権現)、九七

日本朝中大小神祇冥道 一七

鎮守権現 一八

地主…… 二〇

丹生明神 二〇、五二(丹生)

明神 二〇ノ一(大師——)、四四、四六、四九、八二

(日吉) 山王七社 二二、二八、三〇(——王子眷屬)、九二(——王子眷屬)

日本国中一切神祇冥道 二二

王城鎮守万三千七百余所ノ神々 二三

鎮護国家諸大明神 二五

王城鎮守天神地祇廿二社諸神 二五

廿二社諸神 二五

王城鎮守諸大明神 二六、三三ノ一、三四(鎮守王城の諸大明神)、五二、五九、六三、六五、九一

普天率土大小一切神祇冥道 二六

王城鎮守…… 二八、三〇（王城鎮主）、五五、五六、六七（わうしちんす……）、九九（わうしやうのちん

す……）

賀茂下上 二八、三〇（鴨下上）、五〇（賀茂）、五五、五六、六七（かもけしやう）、九九（かも下上）

稻荷 二八（——五所）、三〇（稻^口）、五六、六七（いなり大みやうしん）

祇園天神 二八、六七（きをんとつてんわう） *↓きをん

石山観音卅八所 二八

出雲大明神 二九

御牧鎮守…… 二九

八大明神 二九、九二

十八大明神 三〇

松尾 三〇、五六、六七（まつのを）

平野 三〇、五六、六七（ひらの）

大原野 三〇（大原）

槌部兵主三神大明神 三〇

当郡鎮守…… 三〇（当郡鎮主……）

三尾十九所大明神^口八所 三〇

- 当御庄鎮守…… 三〇（当御庄……）、三二（——之——）、四六、七二、八一
- 大井小井等大明神 三〇
- 日本国中六十余州一万□千七百余所有勢無勢大小神冥道 三〇
- 当国鎮守…… 三〇（当国鎮主……）、六七（たうこくのちんす……）、五八、六一、九一、一〇六
- 大小神儀冥道 三〇
- 清滝大明神 三一ノ二
- 大宅子ノ大明神 三二
- 六十余州之大小明神 三二
- 日本朝中大小神祇 三三ノ一
- 日本国中七道諸国の大小の諸神 三四
- 六十余州普天率土大小神祇冥道 三四ノ一
- 日本国中神祇冥道 三五
- 当国当郡鎮守 三六
- 宇奈根大家子大明神 三六
- 大明神 三八、四五、六六（大明師）、七〇、七九
- 日本国中大小神祇冥道 三八、六五、七四（——之——）、一〇七
- 伽藍鎮守 四一

日本六十余州大小諸神 四一、九九（日本六十州の大小のかみく）

部類眷属 四四、一〇九、一一〇

勸請諸神百廿伴 四四

日本国中大小神祇 四四

御庄内大小諸神 四六

十二之權化 四七（――忝垂証明）

伊勢 五〇、五七（――太神宮）、六五（二所太神宮）、七六（――大神宮）、八二ノ一（大神宮）

氏神正八幡大菩薩 五〇

御勸請諸神 五二

天照大神 五二

正八幡宮 五二

日本国中三千一百三十二社 五二

尽空法界一切諸神 五二

当寺鎮守…… 五五

六十余州大小神祇 五六、六六

当国鎮守二百余社・一宮・二宮・天満天神宮 五八、六一

一宮 五八、六〇、六一

起請文等神文・罰文集成ならびに索引（稿）

- 二宮 五八、六一
- 牛頭天王……等部類神 五九
- 頗梨采女 五九
- 八大王子 五九
- 蛇毒気神子冠日 五九
- 大日本国五畿七道六十余州大小神祇 五九
- 当国十一ヶ所諸大明（神脱カ） 五九
- 瑜鶴羽十二所権現 五九
- 当所鎮守……等諸大明神 五九
- 子守武内竈神殿 五九
- 河原松童 五九
- 丹生高野両所大明神使者眷属 五九
- 玉祖 六〇
- 庄内諸神（庄内鎮守明神） 六二、六三
- 六十余州之大小諸神 六二、六七（六十よしうのたいせうのしよしむ）
- 大日本国中所有神祇冥道 六三
- 八所別宮 六五

熊野三所権現 六五、九九（くまのさんけん）
 日本のちんす…… 六七、九九（日本ちんす……）
 あそ十二く 六七
 たつわら七十よそ 六七
 たうかうのちんす…… 六七
 にしのみやたいみやうしん 六七
 きをん 六七
 やはた 六七
 朝日 七二
 椿 七二
 今熊野 七二
 六十余国大小神祇 七二
 当所上下鎮主大明神 …… 七六
 普天□□権実神祇冥道 七八
 天神護法 七九
 三所権現 八〇
 河内大明神 八一

起請文等神文・罰文集成ならびに索引（稿）

| | |
|---------------------|-----|
| 三界所有神祇冥道 | 八六 |
| 率土之上若干大小諸神部類眷属 | 八七 |
| 六十余州大小 | 八八 |
| 小野上下大明神 | 九〇 |
| 当国鎮守十一箇所大明神 | 九一 |
| 王城鎮守八大明神 | 九二 |
| 葛川領（鎮カ）守地主大権現八大金剛童子 | 九二 |
| 地主大権現 | 九二 |
| 大日本国中大小諸大明神 | 九二 |
| わかみや大井 | 九九 |
| 二所のこんけん | 九九 |
| 日本国中五畿七道大小神祇冥顯 | 一〇〇 |
| 当庄鎮護…… | 一〇〇 |
| 石城三所大権現 | 一〇〇 |
| 日本鎮守…… | 一〇六 |
| 開門正一位所大明神 | 一〇六 |
| 普天率土六十余州大小神祇冥道 | 一〇六 |

日本国中六十余州大小神祇 一〇九

伊豆宮根所権現 一〇九、一一〇

三嶋大明神 一〇九、一一〇

【星宿・道教神等】

尊界会北斗七星七曜九執廿八宿五者眷属四大天王司命都尉天曹郡尉冥官冥道 二五

北斗七星諸宿曜 二六

琰魔法王 二六、五九、九二（炎摩王）

太仙府君 二六

五道天神 二六

司命司録 二六

五道冥宮天王天衆 三〇

日月御星二十八宿 三〇

日月三光、七曜九星、廿八宿 三四

冥官冥衆 三四

五道將軍 五九

泰山府君 五九

五道冥道 九二

【人物・怨靈神等】

七廟尊靈 二、三、四、五

佐命立功大臣將軍（之）靈 二、三、四、五

大師聖靈 七、四二

天満天神 一〇ノ一、五三（天まむ天神）、六〇

天神 一二

八所御靈 一七（当所——）

真言祖師 二〇

大師明神 二〇ノ一

本願聖靈 二二ノ一

北野 三〇、五六（——大明神）

当寺座主人 三一ノ二

（高野）大師 三八、四四、四六、四九、五二、六六、六八、七七、八二、八三、一〇五

太子聖皇 四一

九五之聖主 四七

国主皇帝 四七ノ一

天満天神宮 五八、六一

(北野) 天満大自在天神 五九、一〇九、一一〇

太子聖靈 一〇四(任——御誓文)

【神仏ないしその他一切の総称】

仏神 一一、六八ノ一

三宝諸天神祇冥道 二六

冥仏神頭人間 二六(——皆所令知見)

神仏 二七(——カケタテマツリテ)

神祇冥衆 三四

一切三宝護法諸神 六四(——証明知見)

神冥 六八ノ二

にほんこくのかみほとけ 八四

三宝神明 七一(——知見)

勸請 九二

【罰の内容・形態、神仏名列挙の構造等】

滅子孫 一、二(永——)、三(永——)、四(永——)、五(永——)

無出離 二(無数劫中、永——)、三(無数劫中、永——)、四(無数劫中、永——)、一九(永不可有出離)、五

二(永無有出期)、八五(永——期)

罪 二、三、四

起大禍（太禍） 二、四、五

起天禍 三

現在……、未来…… 六

招災難 六（必——）

不可聞三宝名字 六（雖經無央数劫——）

可断仏種 六（永——）、一七（断三世仏種）

成惡魔 八

子孫不可擬 天護法垂知見証明 八

成 九

不滿所願 九ノ二

現世……、後世（後生）…… 一〇、一七、一九、四八、五七（けんせにハ……、こせにハ……）、六〇

七難九横 一〇（蒙——）、八五（重蒙七難）

冥罰 一〇ノ一、一二（高振靈威、立与——）、一八、二一、二二ノ一、二六（可令当——）、三八、七〇（可加

——、御——）、一〇五

忽停止国務 一〇ノ一

断二世之宿望 一〇ノ一（長——）

可亡子孫 一〇ノ一

罰 一一(被裁——)、一四(必可令——)、一六(中堂——)、一九、二二、二三、二八、三〇、三二、三

三ノ一、三四、三四ノ一、三六、四五、四六、五二、五三(はち)、六三、六五、六七(はち)、六八ノ一、

六八ノ二、七二、七三、七四、七六、八二ノ一(現当二世可令与其——)、九七

内……、外…… 一二、一〇四

加呵責之誠 一二(天神必——)

氏人永断親族之義 一二

冥顯 一二ノ一、二〇(加——之譴)、四八(——之罰)、六〇(——之兩罰)、八六(——境界之罰)

毛孔(毛穴) 一六(每——)、二二(一々——)、二三(一々——每ニ)、二四(□——)、二六(一々——)、二

八、三一(每——)、三一ノ一(一——)、三二(八万四千——每ニ)、三四(八万四千の

——)、三六(每——)、四一(一々——)、四三(每八万四千——)、五二(每——)、五五(每

——)、五六(一々每——)、五八(每——)、六一(每——)、六五(每八万四千——)、六九(八

万四千——)、七二(一每——)、八一(每——)、八四(けのあなことに)、八六(八万四千

——)、八七(八万四千每毛孔)、八八(八万四千毛孔)、九二(八万四千——每)、九九(八まん

四せんの一——毎に)、一〇〇(每——)、一〇五(八万四千每——)、一〇六(一々——每)、一〇

七(八万四千之——)

神罰冥罰 一七、二四(神罰明罰)、二五(神祇冥道ノ——)、四一、五五、五六、五八、五九、六一、六二、六

九、七九、八一、八八、九一、九二、一〇九、一一〇

貧窮無福 一七

滅亡 一八（冥罰令——）

失冥加 一九（永——）

証判 二〇ノ一（可令——）

三日七日内 二一、二五（近——遠——カ内）、二六（近——遠——之内）、二八（——若ハ——之内）、三〇（近

——遠——中）、三一ノ一（近——遠——之中）、六五（近——遠——内）、七三（——之内）、八七

（近者……、遠者……内）

現生……、当世…… 二二ノ一

不幸短命 二二ノ一

惣……、別…… 二三、五五（惣……、殊別……）、五六、一〇九

現世後界事不叶ハ 二三

人間愛敬无ク 二三

所求不遂爪 二三

田畠耕作之間、年穀不登 二三

以病為宮 二三

以乞食為依怙 二三

屋モ无ク、食モ无ク 二三

道路ニ迷フ身 二三（——ト成ラン）

七賞（生カ） 二四

毛 二五（毎——毎ニ）、三〇

神罰 二九、三三ノ二、三五、五〇、五七、七五、八七、九三、九四、九五、九六、一〇〇

証罰 三一ノ一、八九（必可速失之——）、一〇一（須加——）

冥（者）……、顯（者）…… 三一ノ二、四九、五二、五九

治罰 三一ノ二（可令加——）、三七（加——）、四〇（令——）、四九（蒙——）、七七、九八（可加——）、一〇

三

召誠其身、可行過怠 三三

現則……、冥則…… 三三ノ二、七三

公家治罰 三三ノ二、七三

上（は）……下（は）…… 三四、八七

現世・当来永く神明仏陀の利益に漏れ奉るべき 三四

満山之僧侶同心簡括、速可令擯出 三七

現世……、当ニハ…… 四三

白癩黒癩 四三（——等無教授惡病）、四八（受——身）、六〇（受——之身）、八五（受——）、一〇四（授内——）

之病

放数万魔軍眷属、彼等之毎日三時火焼三昧遷 四三

子孫破旬之令結惡縁 四三

御罰 四三、五一（御はち）、六六、七八、九〇（御はち）、九九（御はつ）

冥譴 四四（可——）、四七ノ一（遠及七代永加——）、六八、八三

損失 四四（速——）

遠……、近…… 四六

教誡 四七（嚴可——）、四七ノ一（嚴令——）

不成二世 四七ノ一

満山諸衆一味同心、可加治擯 四九

上……、下界…… 五〇

現者……、当者…… 五二

白癩 五二（忽受——之病、感得不交人之果報）

なかく二世のゝそみをたち 五三

しそむを、ほ□（ろほ力）したまへ 五三

しそんなかくきみにつかまつらす 五七

なかくうかふこ（期）なき身 五七（——にまかりなり候へし）

訴申本家、追却御庄内、随軽重之科、可行罪科 五九

惣……、別……、殊……、殊別…… 五九

飢勸役勵白癩黄旦等種々病患 五九（現世受——）

罪科 六一ノ一（可処——□、七〇（永可処——）

上……、下……、別…… 六三

日別七万念仏、空失其利 六四

現当二世常沈重苦、永受楚毒、無免出期 六四

後身者又別九品之蓮台、永受三途之苦患 六五

そらには……、下ニハ……、とりわきて……、そうしてハ…… 六七

無成二世之悉地 六八

天罰 七二

不可有一家、可放 七五

各不用 七五

現罰 七五ノ一

可為不取菩提之身 七七

五体身 七八

刑罰 八〇（可蒙——）

起請文等神文・罰文集成ならびに索引（稿）

- 永可擯出 八二
- 神明ハ……、仏法ハ…… 八二ノ一
- にくまれ 八四
- けをこしやういたつらにてはて候へし 八四
- 現世……、未来…… 八五
- 七難 八五（重蒙——）
- 永非門徒 八九
- 可失現当之利益 八九
- 職をめしはなされ、他人ニ仰付らるへく候 九〇
- 惣……、上……、下……、殊……、別……、取別…… 九二
- 犯罪科処 一〇四（授……——）
- 冥々 一〇七
- 可漏上人御房値遇之善縁 一〇八
- 譴責 一〇八